

# 進路だより

令和8年6月25日(木)  
東京都立矢口特別支援学校長  
阿出川 千賀子  
<第2号>進路指導部

不安定な天気が続いていますますが体調など崩されていないでしょうか。規則正しい生活で過ごすことや運動で健康な体をつくることも進路につながる大切な力を育みます。ぜひ意識して生活を送っていただければと思います。

本号ではあいさつ検定と小学部5年生の「日常生活の取り組み」について紹介します。挨拶は人と人をつなぐ大切なコミュニケーションの第一歩です。気持ちの良い挨拶は相手に安心感や信頼感を与え、将来にも大きな力になります。御家庭でもぜひ挨拶する機会を大切にしてください。

## ■「校内あいさつ検定」を推奨する目的について

本校では、「校内あいさつ検定」を実施しています。挨拶をする力は、子供たちが将来主体的に生活を送っていくためのとても大切な力です。

キャリア教育は、生活することに関する「ライフキャリア」と働くことに関する「ワークキャリア」に分けることができますが、その両方を含めた教育がキャリア教育です。キャリア教育の中でも第一に挙げられるのがコミュニケーション能力の育成であり、働く場面や地域生活で欠かせない力の一つです。挨拶はコミュニケーションの基本であり、本校の「生活に役立つ4つの力」でも「あいさつの力」を掲げています。挨拶は相手を意識し人と人がつながる第一歩であり、子供たちの未来を支える力になります。

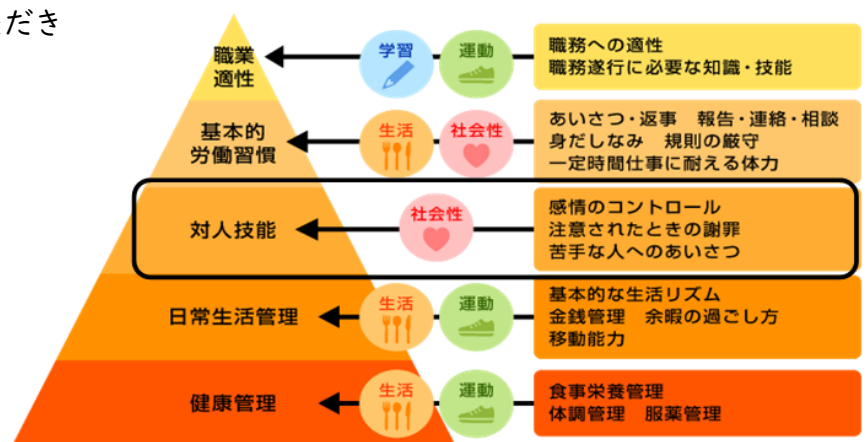
本校では児童・生徒の皆さんが、挨拶の基礎を身に付けることや人と心を通わせ合う楽しさを感じられる取り組みになることを願い、「校内あいさつ検定」を実施しています。

ところで職業準備性ピラミッドという言葉を知っていますか。これは、長く安定して働く上で必要とされるスキルを5段階で表したものになります。職業準備性ピラミッドの中段に位置付けられている「対人技能」は働く上での土台となる重要なスキルで、本校で推奨している「校内あいさつ検定」は、この「対人技能」を伸ばすことを目的としています。

御家庭でも「おはよう」「ありがとう」の言葉を大切に、  
お子様が挨拶できたときは褒めていただき  
習慣付けられるとよいと思います。



▲中2職業・家庭 挨拶練習



(出典元: <https://www.cossy.co.jp/program>)

## ■小学部5年生「日常生活の指導」の取り組み紹介

「日常生活の指導」とは、着替え、排せつ、食事、朝の会、係活動の指導など将来自立した生活を送るための基礎的な力を育む大切な教育活動の一つです。本号では小学部5年生の活動を紹介します。

### 〈着替え〉 ～生活年齢に応じた指導～

着替えは、1年生の頃から行っているのですが、児童一人一人が見通しをもって取り組んでいます。今回は、生活年齢に応じた指導について紹介します。

高学年は、子供たちの身体つきや心の成長に一人一人大きな変化が見られる時期です。5年生では、性差や個人の成長段階に応じた意識を高めるため、着替えの手順を守って取り組むことで、必要以上の露出を避け、適切に着替えができるように支援しています。

### 〈給食配膳〉

給食の配膳をすることも日常生活の指導に関係します。始めに石鹸をつけて手を洗い、エプロン・マスク帽子を身に着け、衛生面を整えてから配膳に取り組みます。おぼんやお皿、スプーンやフォークを配ったり、お皿に盛り付けたりすることも児童の実態に応じて役割を決めています。ときには、失敗してしまうこともありますが、給食の配膳を通して「自分の役割をもつこと」「責任をもってやり遂げること」を学んでいます。任された仕事に取り組む中で、「ありがとう」と言葉を掛けられたり、誰かの役に立つという経験を積み重ねたりしていくことが、子供たちの成長や自信につながります。

また、指示を理解して行動することや、人とやり取りをすることなど基本的な力が、社会の中で自立して生活する土台になります。



▲給食を配膳している様子

御家庭でも、テーブルを拭いたり、お皿を並べたりといった役割を任せることでも子供たちの「できた！」という実感につながります。こうした日々の小さな積み重ねは小学部から中学部、そして将来の進路へつながる大切な基盤となります。本校が目指す「継続的な指導と『つながり』のある指導」は学校だけでなく、御家庭との連携によってより効果的なものとなります。

ぜひ御家庭と学校の取り組みをつなげながら、お子様の成長を支えていきましょう。